

O R ソ フ ト ウ ェ ア 研 究 部 会 活 動 報 告

01702180 (株)システム計画研究所 八巻直一 YAMAKI Naokazu
01602200 青山学院女子短期大学 宮田雅智 MIYATA Masanori

1994年度第4回

日時 : 9月22日(木) 18:00~20:00
場所 : 中央大学理工学部6号館7階6701会議室
テーマと講師 : 宮崎知明(富士通株式会社)
草刈君子(富士通株式会社)
「オブジェクト指向モデルによる生産計画」
概要 : 石油プラントなどの現実モデルに数理計画法を適用した事例である。本発表では、現実モデルをGUIで構築するツールについて提案された。同時に、ワークステーションによるデモが行われた。

1994年度第5回

日時 : 10月20日(木) 18:00~20:00
場所 : 青山学院大学総研ビル7階13会議室
テーマと講師 : 佐藤三久(電子技術総合研究所)
関口智嗣(電子技術総合研究所)
長嶋雲兵(お茶の水女子大学)
「ネットワーク数値情報ライブラリNinf
-広域分散コンピューティングに向けて-」
概要 : 近未来の高速ネットワークを利用したネットワーク高精度数値情報ライブラリの、意義と設計方針について提案があった。Ninfはネットワーク上に配置された利用可能プログラムを直接呼び出すことによって、数値計算資源の世界的共有可を目指すもので、現在はプロトタイプでの実験段階である。

1994年度第6回

日時 : 11月24日(木) 18:00~20:00

場所 : 青山学院大学総研ビル7階13会議室

テーマと講師 : 桜井鉄也(筑波大学)
趙 燕結(久留米大学)
杉浦 洋(名古屋大学)
鳥居達生(名古屋大学)

「自然な数式表現による数学計算のインターフェイス」

概要 : 数学では独特の記号と用法があるが、実際の計算プログラムでは、元の形式をそのまま解釈できない。本発表では、数学表現のまま意味を解釈する方法と、現段階での機能が発表された。

1994年度第7回(RAMPとの合同研究会)

日時 : 12月17日(土) 15:00~18:30

場所 : 青山学院大学総研ビル10階18会議室

テーマと講師 : 高 振宇(早稲田大学理工学部)

「新たなダイナミックシミュレーション法

—GSIM法の基本原理と応用例およびシミュレータの開発—」

概要 : 関数関係と影響関係を複合的に定義した、ダイナミックシミュレータの提案と、デモがおこなわれた。事例では、クリーニング事業のチェーン店に対して、洗濯工場の新設を計画するべきかどうかの判断への適用例が示された。

テーマと講師 : 山下 浩(数理システム)

「数理計画のためのモデリング言語SIMPLEの提案」

概要 : 数理計画法のシステムは、数学的に定義された最適化問題をシステムが要求する形式でデータ化する必要がある。本講演では、できるだけ数学的表現に近い形式で問題の記述が行えるツールについて、提案された。提案されたツールは、C++のクラス定義機能を用いたもので、その柔軟性と拡張性が強調された。

その他の活動としては、本研究部会のソフトウェアの知的所有権に関する研究分科会が、活発に活動を続けており、1995年3月10日、11日にパシフィコ横浜において、RAMPとの共同主催で、「ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護に関する日米シンポジウム」が開催された。